

# 義務教育、でもこんなにも お金がかかるのです。

—無料なのは教科書、授業料だけです—



義務教育は子どもを無料で預かってくれる公共の場所と安易に考えていませんか？ 子どもは社会の大切な宝です。次代を担う宝を育てていくには、やはり結構な費用が必用なことを知ってください

小学校に入学すると、意外とお金がかかることに気がつきます。日本国憲法において義務教育は無償とすると定められていますので、公立の小中学校では授業料や教科書代は無料です。しかし、給食代や、学校の授業に必要な学用品、そして遠足費、PTA会費などが保護者の負担となります。これが意外と大変。一度の集金は小額でも、年間を通してみるとかなりの金額になります。給食費は年間平均約41,000円。学校教育費は年間平均約57,000円。1年生の入学時には【ランドセル】という大きな学用品を購入するのと、体操着や学校指定の教材文具などが必要となります。そして6年生では【修学旅行】の費用が大きくなります。文部科学省の統計によると、学校教育費に1年生は約88,000円、6年生は約82,000円もかかっています。(平成18年度実施)

	給食費	学校教育費	合計	学校教育費に含まれる主なもの
平均	41,000	57,000	98,000	●修学旅行・遠足・見学費
1年	41,000	88,000	129,000	●PTA会費
2年	41,000	34,000	75,000	●学用品・実験実習材料費 (文房具、体育用品、楽器など)
3年	41,000	40,000	81,000	●教科外活動費(クラブ活動費など)
4年	41,000	42,000	83,000	●制服(ある場合)
5年	41,000	54,000	95,000	●通学用品費(ランドセルなど)
6年	41,000	82,000	123,000	

単位:円(千未満四捨五入)

義務教育とは言っても、これだけの負担が必要なのです。少しでも節約するためにはどうしたらいいのでしょうか？ 子どもはすぐに大きくなりますので、体操着や水着などは着られる期間が短いですね。意外と綺麗なものが多く、捨ててしまうのはもったいないと思っている方も多いでしょう。そこで近所のお友達などを通じて「お下がり」をもらうのも節約術の一つです。

[www.ficec.jp/foreign/](http://www.ficec.jp/foreign/)

●「インフォメーションふじみの」のバックナンバーを見ることができます

